

## 6. 情報社会と情報の価値

- ◆ 6-1 社会構造の変化
- ◆ 6-2 情報社会のイメージ
- ◆ 6-3 社会の価値の中に占める情報の価値
- ◆ 6-4 個人における情報の利用
  - (1)知る事(2)判断すること(3)利用分野
- ◆ 6-5 地域・社会における情報の利用
- ◆ 6-6 組織における情報の利用
- ◆ 6-7 国レベルの情報の利用
- ◆ 6-8 情報社会における情報の価値の特徴

1

## 6-1 社会構造の変化

- ◆ (1) 狩猟社会
- ◆ (2) 農耕社会
- ◆ (3) 工業社会
- ◆ (4) 情報社会

2

## (1) 狩猟社会

- ◆ 自然から生活に必要な物を入手していた
- ◆ 社会の価値
  - ほとんど物の価値
- ◆ 生きるために必要な本能的な欲求を満足させるため努力が必要な社会
  - 一次欲求
- ◆ 情報は物を入手するために必要
  - 食料はどこで手にいるか

3

## (2) 農耕社会

- ◆ 農耕技術の進歩により定着した生活が可能となる
  - 人類が個体や種族の維持のために必要な食料が安定して入手できるようになった社会
- ◆ 社会の価値
  - 物の価値
- ◆ 本能的な欲求（一次欲求）が満たされた社会
  - 狩猟社会に最も重要であった欲求が満たされた
- ◆ 情報は収穫を向上させるために必要
  - 農耕技術/天気予報

4

## (3) 工業社会

- ◆ 産業革命により経済秩序への転換が起きた
  - 18-19世紀:農業から工業を基礎とする社会
  - 人や会社に利益をもたらす経済的価値が主体となる
- ◆ 社会の価値
  - 物の価値+エネルギーの価値（労働の代替物）
  - エネルギーの価値の割合が高くなる
- ◆ 物質的欲求が満たされるようになった社会
  - 農耕社会に不足していた物質に対する欲求（二次欲求）が満たされた社会
- ◆ 情報は生産効率を上げるために必要
  - 最適な生産方式、最適な生産量

5

## (4) 情報社会と情報化社会と知識基盤社会

- ◆ 情報により価値を生産するようになった社会
  - 工業社会と対応する概念
- ◆ 社会の価値：
  - 情報の価値 > 物の価値+エネルギーの価値
- ◆ 情報社会と知識社会
  - 経済活動と情報の関係で使用されることが多い
  - 個人と情報との関係で使用されることが多い
- ◆ 工業化社会に不足していた精神的な欲求が満たされるであろう社会

6

## 6-2 情報社会のイメージ

- ◆ Information Society
- ◆ (1) 価値を生産する要素が物質、エネルギーから情報へ移る社会
- ◆ (2) 脱工業社会
- ◆ (3) 情報が正当な価値を持つ社会
- ◆ (4) 個人の生活が快適になる社会
- ◆ (5) コミュニケーションの手段が進歩し情報の交換が容易になる社会 ICT

7

### (1) 価値を生産する要素が物質、エネルギーから情報へ移る社会

- ◆ 経済中心の観点
- ◆ 価値の半分以上が情報によって作られる
  - 付加価値生産額の半分以上が作られる
  - 物質、エネルギーに比べて、情報の重要性が高くなる
- ◆ 大量の情報が不断に生産、蓄積、伝播される社会
  - コンピュータによる迅速な情報処理
  - 多様な通信メディア
  - 広範な情報伝達
  - 通信とコンピューター技術の飛躍的な発達が背景

8

### (2) 脱工業社会

- ◆ post-industrial society、経済中心の観点
- ◆ 工業社会との対比
  - 物の「生産、貯蔵、運搬、消費」などが中心となった社会から、
  - 情報の「生産、貯蔵、伝達、消費」などが中心となった社会へ
- ◆ 物の生産から情報の生産へ重点が移行した社会
  - 情報により付加価値を生産する産業が、GNPや産業従事者数で50%以上を占める
  - 情報を使って情報を生産する：知識産業、情報産業

9

### (3) 情報が正当な価値を持つ社会

- ◆ 情報そのものが正当な価値を持つ
  - これまで情報にお金を払う習慣は、日本では殆どなかった
  - 情報の価値が正当に評価されて、取引の対象とされる
  - ソフトウェア、著作物など
- ◆ 情報の価値を正当に評価できる社会

10

### (4) 個人の生活が快適になる社会

- ◆ 人間中心の観点
  - 情報化社会はさまざまな便利をもたらし、個人の生活を快適なものにしていく
  - 多くの情報の存在と利用環境の実現は、最適の判断を可能にする
- ◆ 個人が情報を所有し自身の生活の向上、社会への貢献に使える
  - 情報社会では一部の人間や集団が情報を独占できなくなった
  - 個人の実力を発揮しやすくなった社会
- ◆ 個人の精神的欲求に応えることのできる社会
  - 情報の活用が精神的欲求を満たす → 6-4

11

### (5) コミュニケーション技術の進歩により情報の交換が容易になる社会

- ◆ 通信技術の進歩
  - 携帯電話
  - インターネット
- ◆ グローバル社会
  - 地球市民
  - 24時間稼働
- ◆ コピキタスネットワーク社会
  - いつでも・どこでもアクセスできる

12

### (6) 否定的なイメージ (肯定的な現実が前提)

- ◆ 格差(地域間、地域内)
  - デイバイド
- ◆ プライバシーの侵害
  - 個人の情報が流出する
  - 名寄せ
  - キー情報: 電話番号、氏名and生年月日
- ◆ 情報犯罪
- ◆ 人間性の希薄化
- ◆ マイナスイメージが誇張

13

### 問1

- ◆ Q1 工業社会の説明と異なるものを選択しない
  - ① 農耕社会の次の社会 ② 産業革命で成立した ③ エネルギーの価値が大きくなった ④ 物質的な欲求を満たすことができる社会 ⑤ 物の価値が大きくなった
- ◆ Q2 情報社会の説明と異なるものを選択しない
  - ① 工業社会の次の社会 ② 情報通信技術の進歩で成立した ③ 情報の価値が大きくなった ④ 精神的な欲求を満たすことができる社会 ⑤ エネルギーの価値が大きくなった

14

### 問1の2

- ◆ Q3 情報社会のイメージと異なるものを選択しない
  - ① 社会の価値がエネルギーから情報へ移る ② 情報の交換が容易になる社会 ③ 情報が正当な価値を持つ社会 ④ 個人の生活が快適になる社会 ⑤ コミュニケーションが容易になる社会
- ◆ Q4 脱工業社会のイメージと異なるものを選択しない
  - ① 情報の生産、貯蔵、伝達、消費などが中心となった社会 ② 物の生産から情報の生産へ重点が移行した社会 ③ 情報により付加価値を生産する産業がGNPの50%以上を占める社会 ④ 情報を使って情報を生産する社会 ⑤ 情報産業従事者数が全体の50%以上を占める社会
- ◆ Q5 正当な価値を持つべき情報に該当しないもの
  - ① ソフトウェア ② 著作物 ③ 音楽CD ④ 調査報告書 ⑤ 広告

15

### 6-3 社会構造の変化と情報の価値

- ◆ (1) 国、部族による情報の利用 (6-7)
  - 国家間、部族間の競争、戦争に勝つこと
  - 国家の立場を他国より優位にすること
  - 国家、部族を統治すること、社会を維持すること
  - 情報は有効に活用されてきた
- ◆ (2) 社会、地域における情報の利用 (6-5)
  - 地域のまとまりは通常は緩やかなつながり
  - 情報の利用は少なかった

16

- ◆ (3) 企業、組織による情報の利用 (6-6)
  - 目的が明確 (なため情報の利用は活発)
    - 利益を上げること
    - 企業間競争に勝つこと
    - 開発競争に勝つこと
- ◆ (4) 個人における情報の利用
  - まず知ることが個人にとって重要
  - 次に自分で考え判断すること
  - 知ることが個人の生活を快適なものにする

17

### 社会構造と情報の価値の変化

物の価値		情報の価値
物の価値	労働の価値	情報の価値
物の価値	エネルギーの価値 (労働の代替価値)	国: 情報の価値 企業: 情報の価値
物の価値	エネルギーの価値	国: 情報の価値 企業: 情報の価値 個人: 情報の価値

18

### 6-4個人における情報の利用 知識基盤社会の視点

- ◆ (1) まず知ることが個人にとって重要
  - 知ることにより個人的興味を満足させることができる
- ◆ (2) 次に自分で考え判断すること
  - 知ることによりどんな相手に対しても対等に考えることができる
- ◆ (3) 想定される個人の情報利用分野
  - 個人の精神的欲求に応えることのできる社会
  - 自己実現（意志の達成）

19

### (1) 情報を知ること

- ◆ 現状を知ること
  - 個人の情報利用で最も必要なことはまず現状を知ること
  - 現状・事実を知らなければ他人と同じレベルで考えることすらできない
- ◆ 個人にとって「競争に勝つために使う場合」は少ない
  - 現状を知らなければ競争に勝つどころか、知っている人に比べ不利益を受ける

20

- ◆ 情報社会で知ることのハードル（障壁）が低くなった
  - 個人の情報利用は情報社会で可能になった
  - 国は国家が成立した時から情報を利用
  - 企業は企業活動が始まった時から情報を利用
- ◆ 個人でも入手できる情報が増えた
  - 企業、政府と対等に情報を入手できる
  - 情報社会では個人のために情報を利用できる

21

### (2) 自分で考え判断すること

- ◆ 知ることによって自分で考えることができる
  - 知ることにより適切な判断が可能になる
  - 個人が、企業、行政と対等に対話・交渉できる
- ◆ 多くを知ることにより適切な判断が可能になる
  - 自己実現の可能性がより高くなる
  - 画一化から、多元化、個性化、個別化へ

22

- ◆ 現状を知ることができないと考えることや判断ができない
  - フィブリンノゲンの投与による薬害c型肝炎
  - アスベストによる中皮腫又は肺がんの発症
  - 血液凝固因子製剤（非加熱製剤）使用によるHIV感染
  - ダイオキシンによる大気汚染
  - 輸入牛肉と狂牛病の危険性
  - 賞味期限のラベル張替え
- ◆ 個人でも国との交渉が可能になってきた

23

### 問2

- ◆ Q1 国による情報の利用に該当しないものを選択する
  - ① 戦争に勝つこと② 国家間の競争に勝つこと③ 国家の立場を他国より優位にすること④ 利益をあげること⑤ 国家を統治すること
- ◆ Q2 企業による情報の利用に該当しないものを選択する
  - ① 利益を上げること② 企業間競争に勝つこと③ 商品開発④ 経営戦略の策定⑤ 個人情報情報の活用
- ◆ Q3 個人における情報の利用で重要でないこと
  - ① 知ること② 教えること③ 自分で判断すること④ 自己実現⑤ 自分で考えること

24



- 2009/1/6-----
- ◆ 自己実現への欲求 (Maslowの最終段階)
    - 意志の実現
    - 不足への欲求と成長への欲求に情報を利用
    - 経済価値生産のためだけではなく、個人の質の高い生活を実現するために情報を使うことができる
    - 物質的欲求から精神的欲求の満足へ
  - ◆ 目的が達成されると次の欲求が生じる
    - 自己実現に終わりはない

- ### 自己実現のために想定される分野
- ◆ 情報社会において情報は、自己実現という精神的欲求を満足させるための価値を持つ可能性が高い
    - A. 学習分野
    - B. 教養分野
    - C. 精神分野
    - D. 趣味・娯楽分野

- ### A. 学習分野
- ◆ 学習分野
    - 専門的、実務的な専門知識と技術
    - 家事など日常生活に関する知識と技術
  - ◆ 知識、技能、態度を修得する分野
    - 知的欲求、意志の形成、意志の実現に必要
    - 人は知らないことがあると知りたと思う
  - ◆ 実用分野
    - 生活に役立つ知識や技術
  - ◆ 教育分野
    - 自分の知識を他人に教える
  - ◆ 自己創造分野

- ### B. 教養分野
- 出展：室伏武1992
- ◆ 一般教養を得る
  - ◆ 教養分野
    - 単なる知識ではなく、人がその素質を精神的、全人的に開花、発展させるために学び養われる学問や芸術
  - ◆ 文化分野
    - 社会の様式、主に精神的な活動から生じたもの
    - 学問、芸術、言語、習俗、道徳、宗教など
  - ◆ 審美分野
    - 自然、芸術などの美的現象を対象とし学問
- (スーパー大辞林)

- ### C. 精神分野, D. 趣味/娯楽分野
- ◆ C. 精神分野
    - 信仰や心の豊かさ、生きることなど精神世界を形成する
    - 哲学分野
      - 世界や人間についての知恵・原理を探求する学問
    - 論理分野
      - 正しい思考の形式や法則を研究する学問
    - 宗教分野
  - ◆ D. 趣味/娯楽分野
    - 精神に安らぎを与える
    - 休息分野
      - ゆったりとした気分でくつろぐこと
    - 娯楽分野
      - 心を慰め楽しむこと
      - 商業ベースのものが大半
    - 趣味分野
      - 専門ではなく楽しみに行うこと
- (スーパー大辞林)

### 6-5 地域・社会における情報利用

- ◆ Aコミュニティ分野
  - 共感者グループの創造
  - 個人の意志を伝える価値、意志を共有できる価値
  - ソサイアティール/アソシエーション(協会)
    - 特別な目的を持ち、目的達成のため行動する
- ◆ B社会貢献分野
  - ボランティア・福祉活動
  - NGO(非政府組織)・NPO(非営利組織)活動
  - 他人や社会に役立つ価値
- ◆ C教育分野
  - 人類の知識資産を組織的に次世代へ伝達する

31

### 地域・社会における情報利用と個人

- ◆ 個人の情報利用から社会活動のための情報利用へ
  - 個人の受動的な情報利用から情報発信/コミュニケーションをともなう能動的な情報利用へ
  - 企業・組織の意志による情報利用とは異なる
- ◆ 社会活動が個人の自己実現に結びつく
  - 娯楽、休息から趣味へ
  - 余暇・レジャーからレクリエーションへ
  - 個人の活動から地域社会・グループの活動へ
  - 自分のための活動から他人・社会のための活動へ
- ◆ 個人と社会の情報利用価値の一致

32

### 6-6 組織における情報の利用 情報社会の視点

- ◆ 企業における情報の利用
  - 利益を上げる
  - 価値を創造する・効率化を図る
  - 競争に勝ちたい場合に最も情報の価値が高くなる
- ◆ 新しい価値の創造
  - これまで存在しなかった物、機能、方法の創造
  - 新規ビジネス/新商品開発
  - 研究開発、技術開発分野
- ◆ 知的財産の蓄積
  - 知的所有権：特許、工業所有権、意匠、商標
  - 著作権：著作物

33

### 6-7 国家における情報の利用 統治の視点

- ◆ 国は自国を統治するために情報を利用してきた
- ◆ 国は他国に勝つために情報を利用してきた
  - 自国を優位な立場にする
  - 有利なように利害を調整する
- ◆ 多くの情報を持っている国ほど国力がある
  - 発展が早い
  - 競争に強い
  - 経済が強い
  - 軍事力が強大

34

### 6-8 情報社会における 情報の価値の特徴

- ◆ (1) 企業活動の基盤をなす
  - 経済的価値を創造・グローバル化の実現
  - 企業倫理・企業の社会的責任に関する情報の増大
    - コンプライアンス(法令遵守:企業倫理も含む)→不正表示
    - コーポレート・ガバナンス(企業統治:企業による意思決定の仕組み)
    - アカウンタビリティ-accountability / 内部統制(SOX法)
    - 製造物責任法(PL法 product liability law)/リコール
- ◆ (2) 自己実現欲求を実現
  - 多量の、多様な情報から必要な情報を見つけ出し、意志・目的を形成し、的確な判断を行なう
  - 自己実現の可能性・水準を高める
  - 社会への貢献

35

- ◆ (3) 情報の発信と共有による価値の創造
  - 情報発信は情報の効率的に収集や、個人の社会活動につながり自己実現に結びつく
  - 情報の共有により新しい価値観を生み出す
- ◆ (4) 個人の価値観と組織の価値観の接近
  - 個人による情報の入手・判断が容易になった
  - 個人の意志・意志に基づく目的の重要性
  - 個人レベルの判断に近づく判断が求められる
- ◆ (参考) 情報を扱う上で重要な意味を持つ単語
  - Will
  - Goal
  - Criteria

36

### 問3

- Q1 自己実現のため想定される情報利用の分野に該当しないものを選択しなさい。  
①学習分野②職業分野③精神分野④趣味⑤教養分野
- Q2 地域・社会における情報利用に該当しないものを選択しなさい。  
①コミュニティ活動②社会貢献活動③教育活動④個人の趣味の活動⑤個人の能動的な情報活動
- Q3 Maslowの欲求階層で最も上位に来る欲求は何か  
①自己実現欲求②尊敬欲求③愛と帰属欲求④安全安心欲求⑤肉体的欲求

37

- Q4 情報社会における情報の特徴に該当しないものを選択しなさい。  
①国を統治するために利用される②企業活動の基盤をなす③自己実現欲求を実現する④情報の発信と共有による価値の創造⑤個人の価値観と組織の価値観が接近する
- Q5 企業活動にとって最近必要性が増している情報である。該当しないものを選択しなさい。  
①生産の効率化②知的所有権③コンプライアンス④企業倫理⑤内部統制(SOX法)

38

### 6-9. 情報をめぐる問題点 犯罪等の実例と対応

- [被害者になる場合]**
  - 一方的に受動的な情報で被害にあう場合
  - 普通の情報を装っているが悪意の意志が含まれている
  - 個人情報
  - セキュリティー
  - 他
- [加害者になる場合]**
  - 著作権の侵害
  - 倫理に反する
  - 個人情報
  - 犯罪(犯罪の認識が希薄)

39

### [被害者になる場合] 1. 受動的な情報で被害にあう場合

電話セールス	14	3	電話による勧誘、電話によるセールス(なれなれしく若い男性から電話による商品セールス・家庭教師の案内)、携帯電話へのセールス電話
迷惑電話	7	5	知らない相手からの電話、迷惑電話、不要な電話
架空請求郵便	5	3	身に覚えのない請求、架空請求、利用していないサイトの請求はがき
架空請求メール	2	1	架空請求メール
キャッチセールス	1	5	キャッチセールス、街頭、勧誘、新湯駅などでエステの勧誘
いたずら電話	1	1	非通知のいたずら電話、無言電話

無視する  
対応しない  
相手にしない  
着信拒否

40

### 2. 普通の情報を装っているが悪意の意志が含まれている

ネットショッピング	7	8	ネットオークション詐欺、インターネットでショッピングでお金を払ったのに商品が届かない、購入した商品が偽物、サイズが合わない、画像と異なる・返品できない
詐欺	8	5	ワンクリック詐欺(携帯の有料サイトの)
詐欺	3	3	結婚詐欺
詐欺	2	2	出会い系サイトのさくら
偽物	2	2	偽造商品や誇張宣伝商品の販売、偽ブランド品の購入

対応しない  
放っておく  
無視する

41

### 3. 個人情報、個人宛情報

eメール	25	4	迷惑eメール(出会い系、オークションサイト、アダルトサイト)、スパムメール、メルマガ
eメール	7	7	チェーンメール
eメール	4	4	ダイレクトメール(郵送)、教材の勧誘郵便
個人情報	2	1	自分に関係のある機関や人をよそおって電話等で個人情報を引き出す
個人情報	1	1	個人情報の漏洩 携帯番号が出会い系サイトに出る
掲示板	1	1	掲示板への業者の書き込み
掲示板	2	2	掲示板で中傷を受ける

対応しない  
アドレス変更  
着信拒否  
自分のところで止める  
電話をかけ直し確認する  
電話で個人情報  
を教えない

42

### 4. セキュリティー 他

ウイルス	3	メールからのウイルス感染
ウイルス	2	Webページ、ポップアップからのウイルス感染
不正アクセス	1	3 コンピュータへ不正にアクセスされる
ウイルス	1	ファイルのダウンロードによるウイルス感染

**ファイアーウォールや対策ソフトを使用する**  
**セキュリティの設定をしっかりする**  
**仕組みをよく理解する**

宗教の勧誘	2	3 宗教団体の勧誘、友達をよそおっての宗教勧誘
契約書	1	内容を確認せずに契約書にサインをする

43

### [加害者になる場合] 1. 著作権の侵害

不正ダウンロード	6	3 不正な音楽ファイルのダウンロード、mp3/mp4ファイルのダウンロード(最近はPCからのダウンロードやレンタルからのコピーが当然になっている)
CD、DVDの不正コピー	5	1 DVD・ビデオをコピー・ダビングし友達に貸す(最近PCからのダウンロードやレンタルからのコピーが当然になっている)、CDをコピーして売る
無断引用	3	7 本やネット上の他人の文章のコピー、無断引用・使用、レポートを書くときに参考文献の表示をせず文章だけ貼り付ける、盗作
CD、DVD	2	4 海賊版CD、DVDの購入、中国で海賊版を購入
(参考)	1	〇リッピングしてCDを作成
HPへの無断引用	4	著作権を侵害する著作物をホームページに無断で載せる、無断で他のサイトの情報を転載する

**法を守る**  
**URL(出典)を明記する**  
**情報の価値を認識する**

44

### 2. 倫理に反する

チェーンメール	21	3 チェーンメール、迷惑メールの転送 携帯の転送メール 面白いので迷惑でなかったがシステムに負担をかけていた
ウイルスメール	1	4 コンピュータウイルスを添付したメールを、ウイルス感染を知らずに送る。ウイルスの付いたメールを誤って送ってしまった
余話	1	1 かわき話
	1	1 ネカマ
	1	1 オークションのキャンセル
	1	1 他人の回答を自分の回答として提出
掲示板	5	5 掲示板で名指しの中傷や他人の名前など個人情報の書き込みをする
掲示板	3	3 違法な/虚偽の書き込み
勧誘	3	3 ねずみ講の勧誘、テレアポのバイトをする、ピラミッド
掲示板	2	2 掲示板の(サイトの)あらし

**相手の立場を考える**  
**チェーンメールの内容を気にせず他人に送らない**  
**消去する**

45

### 3. 個人情報

個人情報	2	3 電話による個人情報の収集、高校の事務員をよそおって友達電話番号を聞きだす
個人情報	1	他人のお写真を本人の承諾なしに他人に送信
個人情報	1	1 自動車学校の友人紹介
個人情報	1	1 個人情報の取引
個人情報	1	1 アンケート調査で収集した個人情報を不正アクセスなどにより漏洩する

- 対応しない
- 個人情報を教えない
- 怪しいと思ったら応えない
- 意識が高くなっている(件数が少ない)

46

### 問題ない事例

- 登録サイトに嘘の登録
- 音楽CDのパソコンでの個人利用
- YOU TUBEを見る
- 友人のHPへの無断リンク
- フリーソフトのダウンロード
- リッピングしてCDを作成し個人使用

47

### 必要な能力

- 自分で必要な情報を探して、自分で判断できるようになることが、求められている能力
- 基本的な最低限の能力
  - 自己の利益や権利を守るため
  - 積極的な利用ではない
- 情報を積極的に活用する場合と同じ能力

48

### 質問

- 日本以外では情報に対価をはらっているか
- 被害にあったことはないか
- 情報社会の次は
- 非公開のページなら著作物の無断使用問題ないか
- ダイレクトメールの住所をなぜ知っているか

49

### 試験

- A4 3枚
- 持ち込み禁止
- 3問

50

### 問1

- 問1

51

### 問2

- 問2A、問2Bから1問を選択しなさい。30点
- 問2A [人の行為と情報]人の行為と情報の関係について説明あるいは論ぜよ。
- 問2B [情報の活用]情報の活用段階について説明し、各段階で必要とされる情報リテラシーについて説明あるいは論ぜよ。

52

### 問3

- 問3C、問3Dから1問を選択しなさい。30点
- 問3C[情報社会と情報の価値]
- 情報社会における「個人と情報の関係」について、「国、企業、社会と情報の関係」と対比させて、説明あるいは論ぜよ。
- 問3D[情報をめぐる問題点]自分が著作権を侵害している場合と、情報に関して倫理的に問題のある行動をとっている場合の実例をそれぞれ3つあげ、それぞれに対する対応策と対応を考えるうえで必要な情報リテラシーをのべよ。

53